

映画「わが青春つきるとも」製作上映運動支援

100年前の不屈の乙女を偲ぶ 講演と文化のつどい

権力に抗して 声をあげた伊藤千代子

ジェンダー平等の草分け

○講演／藤田廣登さん

「時代の証言者—伊藤千代子の生涯」著者

○文化行事

▼とき／2021年12月10日（金）

午後2時～4時

▼ところ／大阪グリーン会館2階ホール

※入場無料



○劇映画「わが青春つきるとも」2021年秋クランクイン、2022年3月完成

桂 壮三郎 監督作品

主演 井上百合子（新人）、竹下景子、窪塚俊介、金田明夫、石丸謙二郎、嵐圭史ら

○参考書籍など

・「時代の証言者 伊藤千代子の生涯」藤田廣登著／学習の友社／1600円＋税

・漫画「伊藤千代子の青春」ワタナベコウ著／新日本出版社／1430円

※10月15日発売

・「ジェンダー視点で学ぶ女性史」／1430円、澤田季江著／日本機関紙出版センター

伊藤千代子とは…

1905年（明治38年）7月21日～1929年（昭和4年）9月24日）、24歳で病死。昭和初期の社会運動家。長野県諏訪郡湖南村南真志野（現・諏訪市）の農家に生まれました。

2歳で母と死別、9歳で亡母の実家・岩波家に移り養育されます。諏訪高等女学校（現・長野県諏訪二葉高等学校）に進学、同校教諭（のち校長）で歌人の土屋文明から英語・国語・修身の授業を受けます。卒業後は小学校の代用教員となりますが、その後、上京し、東京女子大学英语専攻部2年に編入。同大学社会科学研究会で活躍します。

1927年（昭和2年）8月30日、長野県岡谷で起こった製糸業最大の争議「山一林争議」（女工ら労働者による30日ストライキ）の労働者支援を行いました。労働農民党の浅野晃と結婚。

1928年（昭和3年）、初の普通選挙をたたかう労働農民党の藤森成吉候補らの支援活動を行い。同年2月に日本共産党に入党。文書連絡や印刷物の整理などの活動を始めて半月後、三・一五事件の弾圧により検挙され、警視庁滝野川署から市ヶ谷刑務所に収監されます。拷問により転向を強要されますが拒否し続けました。拘禁精神病を発病、松沢病院に収容され、急性肺炎により病死。郷里の龍運寺墓地に葬られました。

共催／大阪市役所労組退職者会、年金者組合大阪府本部、日本機関紙協会大阪府本部
連絡先／亀井順子 ☎080-3893-8225、西岡健二 ☎090-9864-6558（「伊藤千代子」退職者の会）